

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。		
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。		
評価基準	テスト：60％　小テスト（提出物）：30％　授業態度：10％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級		
関連科目	ブライダル知識Ⅰ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	宮崎　明日香	実務経験	○
実務内容	ハウスの会場、施行担当のウェディングプランナーとして実務経験		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	1年次振り返り 海外ウェディング・二次会	1年次振り返り 海外ウェディング、新婚旅行、二次会会場、1.5次会について理解する
2	コーディネーター業務 コーディネータの役割	セールスと施行について理解する 担当制と分担制の違いについて学ぶ コーディネーターの当日の役割について理解する
3	新規業務 ホスピタリティ営業	カップルの動き、集客方法について知る ブライダル商品の特徴を知る
4	プランニング 成約業務	プランニング、プレゼンテーション方法を理解する 結婚式当日までの大まかな打ち合わせスケジュールを理解する 成約時にどのような手続きが必要なのか知る
5	成約～当日 打ち合わせの流れ	時期に合わせた打ち合わせ内容を理解する
6	コーディネート 会場コーディネート テーブルコーディネート	会場内のコーディネートについて理解を深める
7	衣裳① 衣裳、ヘアメイク、着付け①	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
8	衣裳② 衣裳、ヘアメイク、着付け②	衣裳、ヘアメイク、着付けについての知識を身につける
9	フラワーアイテム 装花の手配	フラワーアイテムについて理解する 手配スケジュールについて知る
10	ペーパーアイテム ペーパーアイテムの手配	ペーパーアイテムの手配スケジュールを知る ペーパーアイテムの注意点について学ぶ
11	料理・飲物① テーブルセッティング①	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
12	料理・飲物② テーブルセッティング②	料理・飲物についての知識を身につける テーブルセッティング方法について知る
13	引出物、引菓子 記録、記念アイテム	各アイテムの内容、注意点を知る 手配スケジュールについて知る
14	前期テスト	前期テスト実施
15	総まとめ	テストの振り返りとまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダル知識ⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダル知識ⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場での実践に活かせるブライダルの基礎知識・用語・業界特性を理解・習得する。		
到達目標	ブライダルコーディネート技能検定3級合格を目指す。 ブライダルの基礎知識、用語を理解し使いこなせるようになる。		
評価基準	テスト：60％・提出物：30％・授業態度：10％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	ブライダルコーディネート技能検定3級		
関連科目	ブライダル知識Ⅰ パーティプロデュース・ホテルプランニング・オリジナルプランニング		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	宮崎 明日香	実務経験	○
実務内容	ハウスの会場、施行担当のウェディングプランナーとして実務経験		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	一般常識問題	一般常識問題を想定し解答する
2	筆記問題対策①	ペアを作り、今までの問題を解く（１００問ずつ）
3	筆記問題対策②	
4	筆記問題対策③	
5	筆記問題対策④	
6	実技対策①	対策問題、予想問題を使用し問題を解く
7	実技対策②	
8	実技対策③	
9	実技対策④	
10	模擬テスト①	対策問題を解く
11	模擬テスト②	
12	模擬テスト③	
13	模擬テスト④	
14	検定振り返り	検定を振り返り答え合わせをする
15	総合授業	これまでの授業総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡ A		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡ A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける		
到達目標	就職活動の流れを理解する 面接方法が実践できる		
評価基準	授業態度 3 0 % ・ 提出物30 % ・ テスト 4 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	キャリアデザインⅡB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	宮城 美咲子他	実務経験	○
実務内容	ブライダルサロンとして、ウエディングプランナー歴 5 年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	就職活動について	就職活動のルールについて理解する
2	社会で求められる人材について	社会で求められる能力を理解する
3	グループディスカッション①	グループディスカッションの進め方を理解する
4	グループディスカッション②	グループディスカッションの役割を理解し、実践練習を行う
5	グループディスカッション③	
6	面接練習①	面接の重要性・質問を理解する WEB面接の重要性・質問を理解する
7	面接練習②	模擬面接を行う
8	面接練習③	
9	面接練習④	
10	社会で求められる人材について①	SANKOワークコンピテンスの社会で求められる人材について理解する
11	社会で求められる人材について②	
12	社会で求められる人材について③	
13	振り返り	就職活動・面接のポイントを振り返る
14	テスト	テスト
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅡ B		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅡ B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	各校就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける		
到達目標	就職活動の流れを理解する。 社会人に必要なマナーやスキルを理解する。		
評価基準	授業態度 4 0 % ・ 提出物30 % ・ テスト 3 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	キャリアデザインⅡ A		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	宮城 美咲子他	実務経験	○
実務内容	ブライダルサロンとして、ウエディングプランナー歴 5 年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	社会人とは	社会の一員となることを理解する
2	社員とアルバイトの求められるものの違い	社員とアルバイトの求められるものの違いを理解する
3	社会人基礎力について	社会人として求められる考え方・行動について理解する
4	社会人に求められるスキルについて①	働くにあたり、どのようなスキルが必要なのかを理解する
5	T o D o リスト作成について	優先順位の立て方を理解し、どのように仕事を行うのかを学ぶ
6	スケジュール管理について	スケジュールに立て方、管理の仕方を学ぶ
7	仕事の進め方	仕事の進め方について学ぶ
8	社内マナーについて	社内のマナーについて学ぶ
9	人間関係構築力について①	良い人間関係を築く為に、どのように行動したらいいのかを学ぶ
10	人間関係構築力について②	
11	内定先への目標設定	内定を頂いている企業様にどのような目標を持って働くのかを考える
12	初期クレーム対応の仕方について①	クレームが発生する時はどのようなケースが多いのかを学ぶ
13	初期クレーム対応の仕方について②	クレーム発生時の初期対応の仕方について学ぶ
14	テスト	テスト
15	総合授業	総まとめ

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ブライダルジュエリー		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルジュエリー		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ				
到達目標	ブライダルジュエリーの基礎知識、業界の動向を学び、お客様に幅広い提案の出来る人材を目指す				
評価基準	テスト 5 0 % ・ プレゼン 3 0 % ・ 授業態度 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊禮由希子		実務経験	○	
実務内容	ウエディングプランナー・ジュエリーコーディネーターとしての勤務 1 0 年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入	ブライダルジュエリーの知識の必要性 ブライダルジュエリーの歴史
2	ブライダルジュエリー基礎①	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
3	ブライダルジュエリー基礎②	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
4	ブライダルジュエリー基礎③	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ
5	ブライダルジュエリー基礎④	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン①準備)
6	ブライダルジュエリー基礎⑤	ブライダルジュエリーの基礎知識を学ぶ (コーディネートプレゼン②グループ発表)
7	ハワイアンジュエリー	ハワイアンジュエリーの知識を学ぶ
8	ブライダルジュエリーブランドを調べる①	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う(国内ブランド)
9	ブライダルジュエリーブランドを調べる②	ブライダルジュエリーブランドの企業研究を行う(海外ブランド)
10	指輪のサイズ ラッピング技術	指輪のサイズの調べ方を学び、実際に各自のサイズを知る 実践で使えるラッピング技術を学ぶ
11	ブライダルジュエリー実践	ジュエリーのメンテナンス方法を学ぶ
12	プロポーズの提案①	商品を購入したお客様にプロポーズの提案を行う
13	プロポーズの提案②	提案したプロポーズ方法を発表する
14	前期試験	
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡA		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	挙式披露宴を施行するうえでの準備、当日の運営までを理解する		
到達目標	・ 日頃の授業のアウトプットとして生徒のみで挙式～披露宴を創り上げる。 ・ 現場に一番近い手順で進めていき、企画立案施行の全てが出来る		
評価基準	授業態度 4 0 % ・ 提出物 4 0 % ・ 振り返り 2 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡB・オリジナルプランニング		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石垣永美	実務経験	○
実務内容	フラワーコーディネーター・フリープランナーとして、実務経験 1 0 年以上。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ウェディングプロデュースについて	2年生後期に実施するウェディングプロデュースの概要を知る
2	役割の決定	役割の理解、アンケートを記入する
3	目標設定 当日までのスケジュール理解	ウェディングプロデュースにおける全体の目標を設定する 当日までの準備スケジュールを理解する
4	新郎新婦公募について①	新郎新婦の公募方法を考え実施する
5	新郎新婦公募について②	
6	新郎新婦公募について③	
7	予算使用について	全体予算とセクション予算、予算の使用方法について理解する
8	会場見学・会場研究	使用する会場の見学、導線や物品を確認する
9	各セクション制作①	招待状、席次表、席札作成 演出・進行表・BGM フラワー・会場装飾・小物 ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等 各セクションごとにカタログなどを作成し打ち合わせの準備を行う。
10	各セクション制作②	
11	各セクション制作③	
12	各セクション制作④	
13	各セクション制作⑤	
14	各セクション制作⑥	
15	総まとめ	前期総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルプロジェクトⅡB		
必修選択	必修	(学則表記)	ブライダルプロジェクトⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	日頃の授業のアウトプットとして生徒のみで挙式～披露宴を創り上げる		
到達目標	学んだ知識をもとに実践力を身に付ける 現場に一番近い手順で進めていき、企画立案施行の全てが出来る		
評価基準	授業態度 4 0 % ・ 提出物 4 0 % ・ 振り返り 2 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	ブライダルプロジェクトⅡB・オリジナルプランニング		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石垣永美	実務経験	○
実務内容	フラワーコーディネーター・フリープランナーとして、実務経験 1 0 年以上。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	各セッション制作①	招待状、席次表、席札作成・演出・進行表・BGM・フラワー 会場装飾・小物・ヘアメイク・料理・ウェディングケーキ等のコラージュを作成する
2	新郎新婦様との打合せ①	衣装合わせ・各セッション制作①の提案、ヒアリングをする
3	各セッション制作②	招待状完成・席次表、席札作成・進行表作成・司会原稿作成 CD（映像）作成・ヘアメイク練習・フラワー、会場装飾、小物等を作成する
4	新郎新婦様との打合せ②	衣装合わせ・招待状お渡し・試食会日程決め・各セッション制作②のご提案をする
5	各セッション制作③	全体スケジュール作成・席次表、席札完成・司会原稿完成・CD（映像）完成 ヘアメイク練習・フラワー、会場装飾、小物等を完成させる
6	新郎新婦様との打合せ③	メイクリハーサル・料理、ウェディングケーキ ゲスト人数確認・各セッション制作③の確認をする
7	各種リハーサル	紙上リハーサル・口上作成・各セッション動きを確認する 新郎新婦様との挙式、披露宴リハの為のリハーサルを行う
8	新郎新婦様とのリハーサル・最終打合せ	メイクリハーサル・挙式、披露宴のリハーサル・最終打合せ・お預かり物等を確認する
9	各セッション制作④	席次表、席札人数分印刷・フラワー、会場装飾卓数分作成する 会場へ持込みするグッズを確認する
10	挙式・披露宴リハーサル	挙式・披露宴通しのリハーサルを行う
11	全体リハーサル①	受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りまでのリハーサルを行う
12	全体リハーサル②	受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りのリハーサルを実施しタイム取りをする
13	全体リハーサル③	お客様役の1年生を入れて受付～誘導～挙式～披露宴～お見送りのリハーサルを実施しタイム取りをする
14	振り返り	本番を振り返って振り返りを記入する
15	総合授業	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ブライダルプランナー検定Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルプランナー検定Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	3	45
使用教材	The Business of American Weddings The Business of Japanese Weddings ABC協会認定ブライダルプランナー検定1級過去問題集		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	欧米のウェディングと日本のウェディングの基礎知識・用語・業界特性を理解、習得する		
到達目標	・ 欧米のウェディングと日本のウェディングにおいて、しきたりや慣習・知識等を理解する ・ ブライダルプランナー検定 1 級を取得する		
評価基準	検定結果：60％　プレゼンテーション：20％　小テスト：10％　授業態度：10％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	ブライダルプランナー検定 1 級		
関連科目	ブライダルプランナー検定Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	宮崎明日香	実務経験	○
実務内容	実務経験 1 0 年以上。プランナー		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	American Weddings 第7章 宗教ウェディング	・ 宗教ウェディングの基礎知識とプロテスタントの挙式、カトリック・ユダヤ教の挙式 非宗教挙式について学ぶ ・ 第7章の過去問題を解く
2	American Weddings 第8章 様々なウェディング&イベント	・ 特別なウェディングや様々な会場・パーティについて学ぶ ・ 第8章の過去問題を解く
3	American Weddings 第9章、第10章 自己啓発/営業力/応対力	・ 自己啓発について学ぶ ・ 第9章、第10章の過去問題を解く
4	American Weddings 第11章 米国コンサルタントのビジネス	・ 米国コンサルタントビジネスについて学ぶ ・ 第11章の過去問題を解く
5	American Weddings 第12章 料金・契約書	・ 料金・契約書について学ぶ ・ 第12章の過去問題を解く
6	Japanese Weddings 第6章、第7章 新規接客営業	・ 新規接客業務、婚礼実務について学ぶ
7	Japanese Weddings 第8章、第9章 婚礼当日の実務と テーブルセッティング	・ 日本ウェディングの総まとめとして、第6章から第9章までの過去問題を解く
8	Japanese Weddings 第10章、第11章 様々なオペレーション業務 業界展望と求められる人材像	・ 日本ウェディングの総まとめとして、第10章から第11章までの過去問題を解く ・ 第6章から第11章までの過去問題でできないところを各々で解く
9	検定対策（総まとめ）①	・ 過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
10	検定対策（総まとめ）②	・ 過去問題や対策プリント・疑似問題等で、検定対策を行う
11	検定問題解答・解説	・ 検定試験の解答・解説を行い、自己採点を行う
12	世界の結婚式を調べよう①	・ グループ編成、調査対象国決定を決定し調査項目ピックアップ（国の背景・文化・人口・宗教・しきたり・結婚に対する意識・どんな結婚式をしているのか等） ・ 日本に調査国の結婚式（演出）を取り入れた場合どのような結婚式ができるかを考える
13	世界の結婚式を調べよう②	・ グループごとに対象国を調べる（可能であればパワーポイントを作成する）
14	世界の結婚式を調べよう③	
15	世界の結婚式を調べよう④ 総まとめ	・ グループごとにプレゼンテーションを行う ・ 総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コーディネートB		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネートB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	WEDDING SPACE		出版社	日本ウェディングスタイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	会場・テーブルコーディネート・イメージ分類などブライダルデザインに繋がる知識や技術を学ぶ		
到達目標	コーディネート必要性を理解する。 イメージ分類を理解した上でお客様のイメージする空間を形にできる。		
評価基準	テスト40％・授業態度30％・提出物30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は オンデマンド授業形式と同時双方向型遠隔 授業形式を併用し、実施する。		
担当教員	遠藤智緒里	実務経験	○
実務内容	ウェディングプランナーとして実務経験10年以上。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	コーディネートAの復習	コーディネートAで学んだ内容を復習する
2	結婚式の証明	証明の知識と活かし方を学ぶ
3	結婚式のBGM	BGMの特徴やルールを学ぶ
4	集中講義① オリエンテーション	集中講義の進め方について理解する
5	集中講義② 空間コーディネートの香りについて	空間コーディネートの香りについて学ぶ
6	集中講義③ 挙式の空間コーディネート	挙式の種類別のデコレーションについて学ぶ
7	集中講義④ 披露宴の空間コーディネート	披露宴の空間を作る物について知り、披露宴のデコレーションについて学ぶ
8	空間コーディネート①	春の結婚式のコーディネートを考える
9	空間コーディネート②	夏の結婚式のコーディネートを考える
10	空間コーディネート③	秋の結婚式のコーディネートを考える
11	空間コーディネート④	冬の結婚式のコーディネートを考える
12	集中講義⑤ ウェルカムスペースのコーディネートについて	コーディネートCで作成するウェルカムスペースのコーディネートについて理解する
13	集中講義⑥ デコレーション案について	クラスでデコレーションの案を出し合う
14	集中講義⑦ デザインシート作成	デコレーションの案をもとにデザインシートを作成する
15	テスト	前期テスト

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	コーディネートC		
必修選択	選択	(学則表記)	コーディネートC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	WEDDING SPACE		出版社	日本ウェディングスタイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	空間を創り上げる要素について理解する		
到達目標	効果的な演出方法やデコレーションを理解し、適切な提案が出来る 提案書をもとに指定のスペースにコーディネートをすることができる		
評価基準	テスト 4 0 % ・ 授業態度 3 0 % ・ 提出物 3 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は オンデマンド授業形式と同時双方向型遠隔 授業形式を併用し、実施する。		
担当教員	遠藤智緒里	実務経験	○
実務内容	ウェディングプランナーとして実務経験 1 0 年以上。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	コーディネートの変りバージョン	様々なアイテムのコーディネートについて学ぶ
2	トレンドの演出（挙式）	挙式空間を華やかにするトレンドの演出について学ぶ
3	トレンドの演出（披露宴）	披露宴空間を華やかにするトレンドの演出について学ぶ
4	集中講義① ウェルカムスペースのデコレーション	ウェルカムスペースのデコレーションのポイントについて学ぶ
5	集中講義② 制作物の作り方について	アイテム制作のポイントを学ぶ
6	集中講義③ 制作・施行準備	スペース作成のための制作物、施行手順を検討し、制作を進める
7	集中講義④ 施行リハーサル	制作を進め、施行リハーサルを行う
8	ナチュラルウェディングのコーディネート	コンセプトに合わせた会場コーディネートを行う
9	デザイン構成	プロップアートでデザイン構成練習をする
10	婚礼衣装に合わせたコーディネート	衣装に合わせた披露宴会場のデコレーションを考える
11	集中講義⑤ ウェルカムスペースの施行	ウェルカムスペースを施行する
12	集中講義⑥ プレゼンテーション	作成したウェルカムスペースのプレゼンテーションを行う
13	集中講義⑦ プレゼンテーション・フィードバック	作成したウェルカムスペースのプレゼンテーションと発表したチーム同士でフィードバックを行う
14	テスト	後期テスト
15	ウェルカムスペースのフィードバック	各チームのウェルカムスペースへのフィードバックから作成する際のポイントを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	オリジナルプランニングA		
必修選択	選択	(学則表記)	オリジナルプランニングA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えた打合せ・プランニング方法を理解する。		
到達目標	あらゆるシーンやカップルに合わせた、プランニング方法、打合せ方法を理解し、打ち合わせが出来るようになる。		
評価基準	テスト50%　ロールプレイング40%　授業態度10%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	パーティプロデュース、ブライダル知識		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石垣永美	実務経験	○
実務内容	フラワーコーディネーター・フリープランナーとして、実務経験10年以上。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	打ち合わせスケジュール	成約から当日までの打ち合わせスケジュールを理解する
2	成約時の打ち合わせについて 打ち合わせ後処理について	成約時の打ち合わせと打ち合わせ後にどのような処理をするのか理解する
3	招待状①	作成スケジュールと内容物について学ぶ
4	招待状②	発送時の注意点や文章の使い分けについて学ぶ
5	接客ロールプレイング	招待状決定～発送のご依頼までのロールプレイングを実施する
6	衣装・美容	衣装、美容の手配スケジュールと関わり方について学ぶ
7	引出物・引菓子・プチギフト	引出物、引菓子、プチギフトの手配スケジュールと手配するうえでの注意点を理解する
8	接客ロールプレイング	衣装～プチギフトの決定までのロールプレイングを実施する
9	料理・飲み物	料理、飲み物の提案方法について理解する
10	装花・ケーキ・写真・映像	装花・ケーキ・写真・映像の手配スケジュールと手配するうえでの注意点を理解する
11	接客ロールプレイング	料理～映像の決定までのロールプレイングを実施する
12	テスト	前期テスト
13	人前式プランニング①	挙式を組み立てるのに必要なヒアリングとは何かを学び ヒアリング内容から、お客様のニーズを取り入れたプランニングの仕方を理解する
14	人前式プランニング③	ヒアリング～ご提案までの流れをロールプレイングにて体験してみる
15	席次表について	配席表の手配について学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	オリジナルプランニングB		
必修選択	選択	(学則表記)	オリジナルプランニングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネートテキストスタンダード		出版社	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	新郎新婦のカウンセリングをもとに、カップルの特性を捉えた打合せ・プランニング方法を理解する。		
到達目標	あらゆるシーンやカップルに合わせた、プランニング方法、打合せ方法を理解し、打ち合わせが出来るようになる。		
評価基準	テスト50% ロールプレイング40% 授業態度10%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	パーティプロデュース、ブライダル知識		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石垣永美	実務経験	○
実務内容	フラワーコーディネーター・フリープランナーとして、実務経験 1 0 年以上。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	披露宴プランニング①	披露宴を組み立てるのに必要なヒアリングとは何かを学ぶ
2	披露宴プランニング②	ヒアリング内容から、お客様のニーズを取り入れたプランニングの仕方を理解する
3	披露宴プランニング③	
4	披露宴プランニング④	ヒアリング~ご提案までの流れをロールプレイングにて体験してみる ロールプレイング後はフィードバックの時間を取り振り返る
5	披露宴プランニング⑤	
6	最終見積りについて①	見積りの出し方とお客様への説明の方法を学ぶ
7	最終見積りについて②	お客様のニーズに合わせて見積りを作成する
8	接客ロールプレイング	お客様への見積りの提示についてロールプレイングを実施する
9	進行打ち合わせ①	事前の進行打ち合わせにてどこまでお客様にご説明するのか理解する
10	進行打ち合わせ②	ロールプレイングにて実際に進行打ち合わせをする
11	披露宴当日の業務	披露宴当日のプランナーの役割を理解する
12	当日のアクシデント対応	当日起こる可能性のあるアクシデントについて知り、対応方法を学ぶ
13	クレーム対応	よくあるクレームや対応方法について知る
14	テスト	後期テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ハウスセールスA		
必修選択	選択	(学則表記)	ハウスセールスA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①新規接客や打ち合わせにおいての立居振舞、敬語、カウンセリング、トークスキル等を理解・修得し、円滑なコミュニケーション力をつける。 ②新規接客で重要であるお客様の希望を引き出し、自社の魅力と合わせ提案し、成約に結び付ける過程を理解させ、身に付けた基礎知識を実践（ロールプレイング）でお客様に合わせて使える話し方技法、考え方、気付きのポイントを学ぶ。		
到達目標	①接客をするために必要な立ち居振る舞いや敬語を身に付ける意味を理解し、授業、インターンシップ、日頃の学校生活で出来るようになる ②自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたら良いかを知り改善する。 ③カウンセリング方法、不安・悩み解消の授業で知識や技法を身に付け、本物式で実践できるようなる。 ④ウェディングプランナーだけではなく、全ての職種に生きることを言い続けることで、モチベーションを上げ、授業に取り組む事が出来る。		
評価基準	テスト：50％　ロールプレイング：40％　授業態度：10％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	ホテルセールスB・ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	石垣永美	実務経験	○
実務内容	フラワーコーディネーター・フリープランナーとして、実務経験１０年以上。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	■導入 ■新規接客の流れ (復習)	教員自己紹介 なぜ目標があるのかを考える
2	成約率と8つの力	新規接客のゴールである成約率を上げるための力を身につける
3	新規接客の 必要最低限の知識	新規接客における最低限の8つの力を身につける
4	ご来館アンケート	ご来館アンケートの目的と内容を理解する
5	アイスブレイク	①アイスブレイクの目的を理解する ②OKな話題、NGな話題について理解し実践する
6	ご来館アンケートを使った アイスブレイクロールプレイング	ご来館アンケート、アイスブレイクのロールプレイングを実施
7	カウンセリング① カウンセリングシートの使い方と 内容	カウンセリングシートの内容と目的を理解し、 効果的な質問ができるようにする。
8		
9	カウンセリング② ロールプレイング	お客様からこだわりの聴きだし方と希望が明確なお客様、希望が不明確なお客様に対してそれぞれの価値観を引き出すことを実践する。
10		
11	カウンセリング③ ロールプレイング	・なぜを繰り返し、話を掘り下げる ・クセを見つけ改善 ・正しい敬語の使い方
12		
13		
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ホテルセールスB		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテルセールスB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード		出版社	公益社団法人 日本ブライダル文化復興協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①新規接客や打ち合わせにおいての立居振舞、敬語、カウンセリング、トークスキル等を理解・修得し、円滑なコミュニケーション力をつける。 ②新規接客で重要であるお客様の希望を引き出し、自社の魅力と合わせ提案し、成約に結び付ける過程を理解させ、身に付けた基礎知識を実践（ロールプレイング）でお客様に合わせて使える話し方技法、考え方、気付きのポイントを学ぶ。		
到達目標	①接客をするために必要な立ち居振る舞いや敬語を身に付ける意味を理解し、授業、インターンシップ、日頃の学校生活で出来るようになる ②自分自身に足りない力を見つけ、伸ばすためにはどうしたら良いかを知り改善する。 ③カウンセリング方法、不安・悩み解消の授業で知識や技法を身に付け、本物式で実践できるようなる。 ④ウェディングプランナーだけではなく、全ての職種に生きることを言い続けることで、モチベーションを上げ、授業に取り組む事が出来る。		
評価基準	テスト：50％　ロールプレイング：40％　授業態度：10％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	ホテルセールスA・ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	石垣　永美	実務経験	○
実務内容	フラワーコーディネーター・フリープランナーとして、実務経験10年以上。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	①会場見学 ロールプレイング	・ 会場見学の順番や効果的な案内の仕方を理解する ・ お客様の表情、反応を観察して希望を確認する
2	②会場見学 ロールプレイング	
3	③会場見学 ロールプレイング	
4	魅力的な提案① 提案理由を添えた提案の仕方	それぞれの提案方法について理解する
5	魅力的な提案② 競合先を意識した提案の仕方	
6	魅力的な提案③	
7	見積り説明 ロールプレイング	見積もりの説明の仕方を理解する
8	空き状況の出し方 ロールプレイング	お客様と会場側を考えた空き状況の絞り方と提案の仕方を理解する
9	クロージング	成約、仮予約、未決定への意思の確認と迷いのサインの見極め方を理解する
10	アフターフォロー	電話、メール、手紙 それぞれの手段と内容について理解する
11	成約手続き 申込書、規約説明、 ご予約金のお預かり	申込書、規約説明、ご予約金のお預かりについて
12	新規接客の総まとめ	新規接客の流れとポイントの再確認し実践する チームワークの大切さを学ぶ
13		
14	半期のまとめ	半期のまとめを行う
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジ、ヘア道具一式 ホットカーラー、ヘアアイロン		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	応用ができるようにヘアアレンジの基礎技術を習得する		
到達目標	ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができる		
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	玉城 春香	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション ・ブラッシング・ブロッキング	オリエンテーション 教材配布と説明・ブラッシングの基本を知る・道具の名称・用途の説明
2	黒ゴム結び ・ポニーテール	ゴムの結び方を習得する 10ブロック導入
3	ポニーテール	ブロッキング・ポニーテールのテストを実施する
4	編み込み①	表編み込み、裏編み込みの技術を習得する、片編み、フィッシュボーン、四つ編み
5	編み込み② (小テスト)	編み込み小テスト
6	アイロンスタイリング	アイロンの巻き方とバリエーションを学ぶ
7	ピンニング①	ピンニングの留め方とバリエーションを学ぶ（ハーフアップでピンニングと巻きをチェック）
8	ピンニング② (小テスト)	学んだ技術の小テスト（ハーフアップ）
9	ホットカーラー①	ホットカーラーの巻き方を実践する
10	ホットカーラー②	ホットカーラー反復練習を行う
11	ホットカーラー③・逆毛導入	ホットカーラー反復練習を行う・逆毛の立て方を説明（ボリューム逆毛+つなぎ逆毛）
12	ホットカーラー④	ホットカーラー反復練習を行う&スクリュー逆毛でポニーテールからのカールアップ
13	ホットカーラー⑤ (小テスト)	ホットカーラー全頭20分を実施する&テストスタイル作成&練習
14	実技テスト・筆記テスト	前期に行った授業の全範囲で実技テストを実施する 前期に行った授業の全範囲で筆記テスト作成し実施する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジテキスト、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン、ブライダルメイクテキスト		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ヘアアレンジの基礎的な技術を習得する		
到達目標	ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができるようになる 基礎的な技術を身に付け、繰り返すことで基礎を固め応用力にいかすことができる		
評価基準	実技テスト30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む） 30% 授業態度 40%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	玉城 春香	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション カールアップ①	オリエンテーション ホットカーラー復習、逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ※サイドアップ含む
2	カールアップ①	後期カールスタイルのアレンジ 逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ ※カールアップスタイル（スタイルは各校判断）
3	カールアップ②	
4	カールアップ（小テスト）	カールアップスタイルのテスト
5	夜会巻 ～重ね夜会①～	夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ
6	夜会巻 ～重ね夜会②～	夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ
7	夜会巻 ～重ね夜会③～	夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ
8	夜会巻 ～本夜会②～	本夜会巻きのスタイルを展開図からしっかり学ぶ
9	夜会巻 ～本夜会①～	本夜会巻きのスタイルを展開図からしっかり学ぶ
10	本夜会巻き・重ね夜会巻きどちらか を選択しテストに向け復習・練習	テストで実施するスタイルの復習・練習
11	テスト	重ね夜会巻き又は本夜会巻き どちらかを選択しテスト
12	洋装スタイル①	各校でスタイル選定
13	洋装スタイル②	
14	洋装スタイル・相モデル	相モデルで施術を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サービス実践B		
必修選択	選択	(学則表記)	サービス実践B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	日本ホテル・レストランサービス技能協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	婚礼やレストランにおけるサービスの知識と技術を学び、お客様に合わせたサービスができるようになる。 テーブルマナーや飲食に関する知識を学び知見を広げる。 グループワークを通して協調性・コミュニケーション能力を高めることができる。		
到達目標	基礎的な料飲サービスができるようになる。 料飲サービスに必要な基本的知識が身についている。		
評価基準	テスト実技20％・筆記40％、プレゼンテーション20％、授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	ブライダルプロジェクトⅠ（模擬披露宴） ブライダルプロジェクトⅡ（ウェディングプロデュース）		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	石垣 永美	実務経験	○
実務内容	フラワーコーディネーター・フリープランナーとして、実務経験１０年以上。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	飲料サービス	水、コーヒー、紅茶のサービスを学ぶ
2	ワイン・シャンパン・食前酒①	ワインリストの読み方、ワインの種類や特徴（産地・製造方法）を知る
3	ワイン・シャンパン・食前酒②	抜栓方法や提供方法、食前酒について ワインリストの読み方、ワインの種類や特徴（産地・製造方法）を知る
4		
5	知識を広げよう①	食品の知識を学ぶ
6	知識を広げよう②	
7	レストランウェディングを知る・考える	現在のレストランウェディングの流行や有名なレストラン等を知る どういうパーティーができるのか？価格は？装飾は？どんなサービスをするべきか
8	レストランウェディングをプレゼンする（小まとめ）	
9	デザート・フルーツ・チーズのサービス	フルーツカットについて動画を見て学ぶ チーズの知識、製造方法を理解し、種類について理解する
10	カクテル①考案	グループでカクテルを考案する テーマを考案しプレゼンを実施
11	カクテル②（試作・プレゼン）小まとめ	グループで試作をし、プレゼンテーションを行う
12	半期のまとめ	半期のまとめを行う
13	サービス実践①	各結婚式場のサービスの違いを知る
14	サービス実践②	サービスの実践 ウェディングプロデュースに向けたサービス実践
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	心理学		
必修選択	選択	(学則表記)	心理学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	①実践モチベーションマネジメント【BASIC】 ②今日から使える行動心理学		出版社	①モチベーション・マネジメント協会 ②ナツメ社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界のスタッフとしてお客様心理や一緒に働く仲間の心理と自己のモチベーションマネジメントを身に付ける		
到達目標	①自己のモチベーションをコントロールする方法を述べる事が出来る ②お客様や仲間の心理を理解する方法を述べる事が出来る		
評価基準	テスト：40％　小テスト：30％　提出物：30％		
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	モチベーションマネジメント オリエンテーション 自分に対してのモチベーション①	授業の流れ、到達目標について 「公認モチベーション・マネジャー資格」について 自分に自信がないケースについて
2	自分に対してのモチベーション②	出来ない事を人のせいにしてしまうケースについて 叱られたくない、迷惑をかけたくないケースについて
3	仕事に対してのモチベーション①	仕事がつまらならないと思うケースについて 希望していない仕事に配属されたケースについて
4	仕事に対してのモチベーション② 職場に対してのモチベーション①	頑張っているのに成果が上がらないケースについて 打ち解けられないケースについて
5	職場に対してのモチベーション②	職場の同僚から嫌われていると感じるケースについて 発言しづらい雰囲気のケースについて
6	上司に対してのモチベーション	尊敬でない上司について 相性が悪い上司について 怖い上司について
7	テスト・振り返り	総まとめテストと、必要な部分の補足学習を行う
8	行動心理学オリエンテーション 行動に表れる本音①	行動心理学を学ぶ意味について ふとしたしぐさに表れやすい本音について
9	行動に表れる本音②	気持ちを隠し切れない表情について 会話の中に折り込まれる人間性について 自分を魅力的に見せるテクニックについて
10	行動からわかる性格と心理	癖に隠れた人間性について ファッションから読み取る人物像について ハマりものに表れる深層心理について ポジティブに過ごすテクニックについて
11	できる人間から学ぶ行動	上司の心をつかむコミュニケーションについて 何を考えているのかわからない部下について うまくつきあいたい同僚について 仕事で成功するテクニックについて なかなか抜け出せないスランプについて
12	消費者行動の心理	財布の紐が緩むときについて マーケティングを活かした「売る」仕掛けについて 「欲しい」をかきたてる宣伝文句について
13	行動で操れるあの人の心	・言動から読み解く脈アリのサインについて ・2人の心が近づくしくみについて ・恋愛難民になってしまう理由について ・恋を手に入れるテクニックについて ・幸せな関係が長く続く2人について
14	テスト・振り返り	総まとめテストと、必要な部分の補足学習を行う
15	総合学習	総合学習を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プレゼン・コミュニケーションA		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼン・コミュニケーションA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法		出版社	ウィネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	場面や相手にふさわしい挨拶、正しい日本語、姿勢や表情の作り方、傾聴力など、お客様とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ。また、司会原稿作りを学び、原稿に合わせて実践することができるようになる		
到達目標	正しい日本語で、会話ができる。 相手に合わせた、提案ができるようになる。 正しい姿勢・表情で自身の想いを、プレゼンテーションできる。 挙式・披露宴の司会原稿が作れるようになり、原稿に合わせて実践ができるようになる。		
評価基準	テスト・課題提出60%、授業態度・参加の積極性40%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	宮城 美咲子	実務経験	○
実務内容	ブライダルサロンとして、ウエディングプランナー歴5年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション・導入 コミュニケーションについて	・授業のルール・成績の付け方 ・コミュニケーション行動をチェックしよう ・自己紹介、コミュニケーションについて ・コミュニケーションとコミュニケーションの定義について
2	話す力・聞く力 聞くことの重要性	・「話すこと」「聞くこと」について ・コミュニケーションと話し上手 ・聞くことの重要性
3	美しい日本語	・話し言葉について（敬語の正しい使い方）
4	発音・発生	・自分の話し方を見直そう ・きれいな発音・発声を身につけよう
5	効果的な表現力	・態度面が話の効果を決める ・目線・アイコンタクト ・表現力を高めるジェスチャー
6	小テスト 司会とは	・小テスト ・司会者の役割 ・良い司会者とは ・司会者の心構えについて
7	司会原稿作成 1	・披露宴前半の流れをと内容を確認 ・進行表をもとに、乾杯までの司会原稿を作成
8	司会原稿発表	・司会原稿作成 1 で作成した司会原稿をもとにロールプレイ
9	司会原稿作成 2	・披露宴中盤の流れをと内容を確認 ・進行表に沿って乾杯から結びまでの司会原稿を作成
10	司会原稿発表	・司会原稿作成 2 で作成した司会原稿をもとにロールプレイ
11	司会原稿作成 3	・披露宴後半の流れと内容を確認 ・進行表に沿って結びの原稿を作成
12	司会原稿発表	・司会原稿作成 3 で作成した司会原稿をもとにロールプレイ
13	テスト	・前期テストの実施
14	プロフィール原稿作成	・ペアになり、お互いのプロフィールをヒアリング、それをもとに原稿を考える
15	プロフィール原稿発表	・作成したプロフィール原稿を発表する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プレゼン・コミュニケーションB		
必修選択	選択	(学則表記)	プレゼン・コミュニケーションB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法		出版社	ウィネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	場面や相手にふさわしい挨拶、正しい日本語、姿勢や表情の作り方、傾聴力など、お客様とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ。また、司会原稿作りを学び、原稿に合わせて実践することができるようになる		
到達目標	正しい日本語で、会話ができる。 相手に合わせた、提案ができるようになる。 正しい姿勢・表情で自身の想いを、プレゼンテーションできる。 挙式・披露宴の司会原稿が作れるようになり、原稿に合わせて実践ができるようになる。		
評価基準	テスト・課題提出60%、授業態度・参加の積極性40%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	司会打合せ	・ 司会打ち合わせの内容・コツ
2	人前式原稿	・ 進行表に沿って挙式の司会原稿を作成
3	人前式アナウンス発表	・ 原稿を仕上げロールプレイングの実施
4	アフターセレモニー原稿	・ 進行表に沿ってアフターセレモニーの司会原稿を作成
5	アフターセレモニー発表	・ 原稿を仕上げロールプレイングの実施
6	イレギュラーに対するコメント	・ テーマをもとに、そのシーンを彩るようなコメント・進行を考える
7	イレギュラーに対するコメント 発表	・ 前回作成した司会原稿をもとにロールプレイング
8	プレゼンテーション ～自分の話し方～	・ プレゼンテーション実習 ・ 自分の話し方をチェックしてみよう
9	プレゼンテーション ～効果的な話の構成～	・ 5 W2Hで話す ・ 話に名ナンバーを付けて話す、主題－話題－主題で話す ・ AIDMAの法則を使って話す
10	プレゼンテーション ～効果的な表現力～	・ 表現力を高めるジェスチャー
11	テスト	・ 後期テストの実施
12	ビブリオバトルとは	・ ビブリオバトルとは ・ プレゼンする本の検討
13	ビブリオバトル実践 1	・ ビブリオバトルを実践する
14	ビブリオバトル実践 2	・ ビブリオバトルを実践する
15	総合学習	総合学習を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネスメールA		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスメールA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界で必要な基本的なビジネスメールの送り方を学ぶ。		
到達目標	社会人として必要とされるビジネスメールマナーを学び スムーズに業務を進めることのできるテクニックを習得する。		
評価基準	テスト60%、課題提出20%、授業態度20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者		
関連資格	ビジネスメール実務検定試験 3 級（任意）		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	瀧田 千春	実務経験	○
実務内容	一般企業 勤務 10 年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション・メール基本設定	ビジネスメールを学ぶ意義・メールアドレスの登録、設定について学ぶ
2	ビジネスメール導入	メールの機能を学ぶ、ビジネスメール基本の構成について学ぶ
3	ビジネスメール導入	メールの機能を学ぶ、ビジネスメール基本の構成について学ぶ
4	ビジネスメール実践①	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成を行う
5	ビジネスメール実践②	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成を行う
6	ビジネスメール実践③	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成を行う
7	ビジネスメール実践④	現場で使用するビジネスメールの事例からメール作成を行う
8	ビジネスメール作成応用①	例題に基づきビジネスメールを作成、送信を行う
9	ビジネスメール作成応用②	例題に基づきビジネスメールを作成、送信を行う
10	ビジネスメール作成応用③	例題に基づきビジネスメールを作成、送信を行う
11	ビジネスメール作成応用④	例題に基づきビジネスメールを作成、送信を行う
12	ビジネスメール作成応用⑤	例題に基づきビジネスメールを作成、送信を行う
13	ビジネスメール作成応用⑥	例題に基づきビジネスメールを作成、送信を行う
14	前期確認テスト	テストを実施する
15	前期まとめ	テストの解説及びここまでの学びを復習する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ビジネスメールB		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスメールB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界で必要な基本的なビジネスメールの送り方を学ぶ。		
到達目標	社会人として必要とされるビジネスメールマナーを学び スムーズに業務を進めることのできるテクニックを習得する。		
評価基準	テスト60%、課題提出20%、授業態度20%		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者		
関連資格	ビジネスメール実務検定試験 3 級（任意）		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	瀧田 千春	実務経験	○
実務内容	一般企業勤務 10 年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ビジネスメール作成①	オリジナルビジネスメール作成、送信を行う
2	ビジネスメール作成①	オリジナルビジネスメール作成、送信を行う
3	ビジネスメール作成②	オリジナルビジネスメール作成、送信を行う
4	ビジネスメール作成②	オリジナルビジネスメール作成、送信を行う
5	メールトラブル	ビジネスメールトラブルの解決法について学ぶ
6	メールトラブル	ビジネスメールトラブルの解決法について学ぶ
7	ビジネスメール作成③	指定のメールを作成、送信を行う
8	ビジネスメール作成③	指定のメールを作成、送信を行う
9	ビジネスメール作成④	指定のメールを作成、送信を行う
10	ビジネスメール作成④	指定のメールを作成、送信を行う
11	ビジネスメール応用	ビジネスメール実務検定の内容、効率的なメール作成のテクニックについて学ぶ
12	ビジネスメール応用	ビジネスメール実務検定の内容、効率的なメール作成のテクニックについて学ぶ
13	後期確認テスト	テストを実施する
14	後期まとめ	テストの解説及びここまでの学びを復習する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダル英会話Ⅰ A		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダル英会話Ⅰ A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	Fun Time!		出版社	朝日出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	英語に興味を持ち、お客様に声がけ、ご案内ができるスキルを身につける		
到達目標	・単語や英文法の基礎を学び、英語を聞き取る事ができるようになる ・日常のありふれた会話を英語でロールプレイングができるようになる（身振り手振りも大切な伝え方）		
評価基準	小テスト 30％・ロールプレイングテスト 40％・授業態度 30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	ブライダル英会話ⅠB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	藤田 隆子	実務経験	○
実務内容	国際交流機関にて10年勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	①授業の目的・成績評価・授業ルール・自己紹介・検定 ②UNIT1	①教員の自己紹介、英語習得の目的や学習するうえで大切なことを理解する。 ②単語と文法を確認 / ロールプレイング
2	①UNIT1 単語テスト/復習 ②UNIT2	①UNIT1単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
3	UNIT2 単語テスト/復習 UNIT3	UNIT2単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
4	UNIT3 単語テスト/復習 UNIT4	UNIT3単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
5	UNIT4 単語テスト/復習 UNIT5	UNIT4単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
6	UNIT5 単語テスト/復習 UNIT6	UNIT5単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
7	UNIT1-6 テスト（筆記） UNIT7	UNIT1-6 筆記テスト 単語と文法を確認 / ロールプレイング
8	UNIT7 単語テスト/復習 UNIT8	UNIT7単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
9	UNIT8 単語テスト/復習 UNIT9	UNIT8単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
10	UNIT9 単語テスト/復習 UNIT10	UNIT9単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
11	UNIT10 単語テスト/復習 UNIT11	UNIT10単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
12	UNIT11 単語テスト/復習 UNIT12	UNIT11単語テスト及び復習 単語と文法を確認 / ロールプレイング
13	UNIT7-12 テスト（筆記）	UNIT7-12筆記テスト
14	Speech Training	P74スピーチを実施
15	後期に向けて	後期に向けて理解する/総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダル英会話ⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダル英会話ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	Fun Time! みんなの外国語検定 デモ検定ブライダル			出版社	朝日出版社

科目の基礎情報②

授業のねらい	英語に興味を持ち、お客様に声がけ・ご案内ができるスキルを身につける		
到達目標	・インバウンド接客外国語検定（英語・ブライダル）の取得 ・単語や英文法の基礎を学び、英語を聞き取る事ができるようになる		
評価基準	ロールプレイングテスト・デモ検定 30% 授業態度 30% 検定40%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	インバウンド接客外国語検定／英語／ブライダル		
関連科目	ブライダル英会話ⅠA		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	藤田 隆子	実務経験	○
実務内容	国際交流機関にて10年勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	①授業の目的・成績評価・授業ルール ②検定について ③前期復習	①英語習得の目的や学習するうえで大切なことを理解する。 ②検定について理解する ③前期の復習
2	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
3	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
4	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
5	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
6	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
7	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
8	デモ検定	ブライダルでの単語や文法を理解する
9	検定対策①	デモ検定
10	検定対策②	デモ検定
11	レストランサービスのロープレ テスト準備1	レストランサービスの台本作成
12	レストランサービスのロープレ テスト準備1	レストランサービスの台本作成・ロープレ練習
13	レストランサービスのロープレ テスト準備2	レストランサービスのロープレ練習
14	レストランサービスのロープレ テスト	レストランサービスのロープレ本番
15	総合授業	総まとめ

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダル映像知識		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダル映像知識		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	なし		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	写真・映像制作の知識やテクニックを学び、現場で活かせる基礎スキルを身につける				
到達目標	写真・動画の効果を理解し、簡易的な作品を自分で制作できるようになる				
評価基準	課題提出 6 0 %、授業態度・参加の積極性 4 0 %				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大城 崇		実務経験	○	
実務内容	映像会社勤務 1 0 年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション・映像導入	授業の目的・到達目標の共有、映像作品の紹介を行う
2	映像の役割	披露宴における映像の役割を理解、プランナーとの関わり方について学ぶ
3	映像の基礎①	映像演出効果、編集表現方法について学ぶ
4	映像の基礎②	映像プリプロダクションの基礎知識・撮影技法を学ぶ
5	映像の基礎③	映像撮影の基礎知識を習得する
6	映像編集に関わる音の基礎/著作権	音、曲の基礎知識、データの取り扱い、課題に基づき音楽編集 / 著作権について学ぶ
7	映像撮影実践①	ブライダル映像撮影のポイントと実践を行う
8	映像撮影実践②/映像編集基礎	ブライダル映像撮影の振り返り・ブライダル映像に関わる照明、演出 / 映像編集基礎を習得する
9	映像制作①	オリジナルのテーマ、ストーリー決めを行う
10	映像制作②	絵コンテ制作・映像撮影・編集を学ぶ
11	映像制作③	映像撮影・編集を学ぶ
12	映像制作④	映像撮影・編集を学ぶ
13	映像制作⑤	映像撮影・編集を学ぶ
14	映像発表・まとめ	制作映像発表、総評、振り返りを行う
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	WEBプランニング		
必修選択	選択	(学則表記)	WEBプランニング		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	起業家・フリーランスのための「ブログ・SNS集客」のキホン いちばんやさしいマーケティングの教本		出版社	同文館出版 インプレス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	プランナーとしてお客様のWEB上での顧客の認知から購買までの流れを理解し、WEBマーケティングの基礎を学ぶ		
到達目標	ゼクシィ本誌及び各種ポータルサイト、SNSを使用した効果的な集客の方法を学ぶ		
評価基準	テスト・課題提出 60 %、授業態度・参加の積極性 40 %		
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石垣 永美	実務経験	○
実務内容	フラワーコーディネーター・フリープランナーとして、実務経験 10 年以上。		

各回の展開		
回数	単元	内容
1	マーケティング基礎	本講義の全体像、マーケティングの定義と背景を学ぶ
2	マーケティング基礎Ⅰ	マーケティングフローを理解する（セグメンテーション、ターゲティング）
3	マーケティング基礎Ⅱ	マーケティングフローを理解する（3C、4P）
4	マーケティング応用Ⅰ	視覚マーケティングとブランディングを学ぶ
5	マーケティング応用Ⅱ	視覚マーケティングとブランディングを学ぶ
6	ブライダルマーケティング基礎Ⅰ	ブライダルビジネスの基礎知識を学ぶ（業態、商品特性、カップルの検討行動）
7	ブライダルマーケティング基礎Ⅱ	反響経路の深い理解をする（ゼクシィ誌面）
8	ブライダルマーケティング基礎Ⅲ	反響経路の深い理解をする（ゼクシィnet）
9	WEBマーケティング基礎Ⅰ	WEBマーケティングの目的とブライダルにおけるWEBマーケティングの特殊性を学ぶ
10	WEBマーケティング基礎Ⅱ	流入施策を理解する（WEB広告、SEO、SNSマーケティング、記事広告）
11	WEBマーケティング基礎Ⅲ	サイト改善施策を理解する
12	WEBマーケティング応用Ⅰ	SNSマーケティングの概要を学ぶ
13	WEBマーケティング応用Ⅱ	Instagramのアカウント運用を学ぶ
14	WEBマーケティング応用Ⅲ	ブライダルにおけるSNS活用の事例を学ぶ
15	総復習＆テスト	総まとめ、テストを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けA		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリップ(肌着)・クリップ(5)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けの基礎を学び、着付けの知識があるプランナーを育成する		
到達目標	きものの着付け3級(6月強制受験 免許免除)		
評価基準	検定試験：40％ テスト30％ 授業態度：30％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きものの着付け資格		
関連科目	着付けB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡久地紀子・金城香織	実務経験	○
実務内容	着付け師として、実務経験10年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	着付け授業について	授業内容、教材・小物の説明、取得免許について、授業ルールの説明
2	小紋の着せ方1	補整について、長襦袢の着せ方・たたみ方
3	小紋の着せ方2	小紋の着付け(裾合わせ)、たたみ方、着物の部分名称
4	小紋の着せ方3	小紋の着付け(衿合わせ)
5	小紋の着せ方4	小紋の着付け(お端折の作り方)
6	小紋の着せ方5	半幅帯について、小紋に蝶結び、小テスト(着物の名称)
7	小紋の着せ方 6	小紋に蝶結び 仕上げ
8	小紋の着せ方7	小紋に蝶結び 仕上げ
9	3級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
10	3級検定試験	小紋の着付けと蝶結び(20分)、たたみ方テスト
11	座学1	着物の名称プリント、着物の種類プリント試験結果通知
12	浴衣の着せ方	浴衣の他装 浴衣に蝶結び
13	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について
14	小紋に名古屋帯	名古屋帯について、帯のセットの仕方、お太鼓結び
15	総合学習	小紋にお太鼓結び(紐使い) 前期まとめ(期末テスト)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け B		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリップ(肌着)・クリップ(5)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けの応用を学び、着付けの知識があるﾌﾟﾗﾝﾅｰを育成する		
到達目標	・きものの着付け2級(12月強制受験 免許強制)		
評価基準	検定試験：40％ テスト30％ 授業態度：30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きものの着付け資格		
関連科目	着付け A		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡久地紀子・金城香織	実務経験	○
実務内容	着付け師として、実務経験10年以上		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	後期授業の流れ 振袖の着付け(紐使い) 準備・たたみ方
2	振袖の着せ方2	袋帯について、帯のセットの仕方、ふくら雀の結び方
3	振袖の着せ方3	振袖にふくら雀
4	振袖の着せ方4	振袖にふくら雀
5	振袖の着せ方5	振袖にふくら雀 仕上げ
6	振袖の着せ方6	振袖にふくら雀 仕上げ
7	振袖の着せ方7	振袖にふくら雀 仕上げ
8	振袖の着せ方8	振袖にふくら雀 仕上げ
9	2級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
10	2 級検定試験	振袖の着付けとふくら雀(30分)
11	座学(2)	きもののTPOプリント、花嫁衣裳プリント試験結果通知
12	留袖1	留袖の着せ方、二重太鼓、たたみ方
13	留袖2	留袖・二重太鼓の仕上げ
14	紋服の着せ方	紋服について、着せ方・たたみ方
15	総合学習	女袴について 着せ方・たたみ方 後期総まとめ(期末テスト)

科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ドレススタイリストの仕事の一環である、素材に合わせた、シミ抜き・補正(裁縫)・裾上げ・アイロン掛け等のメンテナンス業務を学ぶ				
到達目標	生地の種類やドレスのタイプによるメンテナンス方法や裁縫技術を習得する				
評価基準	テスト 5 0 % ・ 作成物 3 0 % ・ 授業態度(提出物含む) 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスデザイン AB ・ ドレスフィッティング				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	玉城公美		実務経験	○	
実務内容	洋服仕立て直し業				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ドレスの素材の知識	ドレスの素材と取り扱いについて
2	アイロン実習	手アイロン、スチームアイロン説明、実習
3	縫製の知識と製縫実習①	縫製の知識 流しまつり 返し縫い 練習
4	縫製の知識と製縫実習②	縫製の知識 流しまつり 返し縫い 練習
5	縫製の知識と製縫実習③	縫製の知識 奥まつり縫い コの字縫い 練習
6	縫製の知識と製縫実習④	千鳥がけ ループ スパンコール
7	縫製の知識と製縫実習⑤	ボタン スナップ ホック
8	縫製の知識と製縫実習⑥	ミシンの扱い方
9	縫製の知識と製縫実習⑥	ミシンの扱い方
10	リングピロー作成①	デザイン製図
11	リングピロー作成	デザイン製図 生地縫断 縫製 装飾
12	しみ抜き実習	汚れの知識とシミ抜き方法口紅、ファンデーションの汚れを取る
13	和装(着物)の素材の知識	着物の素材、加飾技法、取り扱いについて
14	後期試験	筆記試験・実技試験
15	総まとめ	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスソーイング&メンテナンスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスソーイング&メンテナンスⅠで取得した知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、実際に作品作りを行う。		
到達目標	衣装のメンテナンス(裁縫業務・衣装点検)の基本を理解し出来る。 そしてミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレス制作において、自身でデザインした作品をオリジナルで完成させ満足のいく作品を創る事が出来る。		
評価基準	制作物 5 0 % ・ テスト 3 0 % ・ 授業態度 2 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	ドレスソーイング&メンテナンスⅠ、ブライダルプロジェクトⅡ A、ブライダルプロジェクトⅡ B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	玉城公美	実務経験	○
実務内容	洋服仕立て直し業		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	衣装点検	学校の衣装を点検する/洗濯表示について
2	メンテナンス業務①	1着の衣装をメンテナンス
3	メンテナンス業務②	1着の衣装をメンテナンス
4	メンテナンス業務③	1着の衣装をメンテナンス
5	メンテナンス業務④	1着の衣装をメンテナンス
6	メンテナンス業務⑤	衣装・小物のメンテナンス
7	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作①	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
8	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作②	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
9	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作③	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
10	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作④	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
11	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑤	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
12	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑥	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
13	ミニチュアドレスの制作 リメイクドレス制作⑦	ミニチュアドレス制作もしくはリメイクドレスの制作を行う
14	後期試験	
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネート A		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネート A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける		
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦様の小物を含めた洋装～和装のトータルコーディネートが出来る。 また、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事が出来る。そして現在のトレンドを理解しセンスを身につける		
評価基準	テスト 5 0 % ・ 実技(ロールプレイング) 3 0 % ・ 授業態度(提出物含む) 2 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	ドレスコーディネートB、ドレスカウンセリングAB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	玉城陽子	実務経験	○
実務内容	ウェディングプランナー		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	貸衣装店の業務フロー 衣装決定から搬入準備	業務の流れ、内容を知る,伝票作成から品揃え、タグの貼り付けまでの一連の流れ 在庫管理の重要性・納品・請求書明細・受領書・合計請求書
2	衣装知識	自分の就職希望先、または1番好きなドレスショップやブランドを調べコラージュする
3	衣装知識	違いを把握するため自分の就職希望先の競合するショップやブランド、または2番目に好きなショップやブランドを調べコラージュする
4	プレゼンテーション	2～3週目で調べたドレスショップ・ブランドをコラージュを用いてプレゼンテーション
5	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク 検討
6	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク 実践
7	ディスプレイ技術	ディスプレイのデザイン・グループワーク プレゼン
8	受付対応	電話受付・来店受付対応方法
9	衣装選択	妊婦の対応方法、体形別アドバイス方法の復習
10	衣装選択	アドバイス方法をもとにお題を出したのに対しドレスを選び プレゼン発表用に内容をまとめる
11	実技試験①	9～10週目の内容のプレゼンテーション（1人3分程度、人数によって調整）
12	フィッティング ロールプレイング	新郎衣装案内・列席衣装案内
13	実技試験②	受付対応のロールプレイングテスト
14	前期試験	
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ドレスコーディネートB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスコーディネートB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	The Business of Wedding Attire & Styling		出版社	全米ブライダルコンサルタント協会 (ABC協会) 日本オフィス	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレスフィッティングで学んだ技術を実践し、ロールプレイングを通して接客スキルを身に付ける		
到達目標	ドレスショップでの業務内容を理解し、新郎新婦様の小物を含めた洋装(和装)のトータルコーディネートが出来る。また、ロールプレイングを通してトーク力向上、衣装の扱いを理解し正しく扱う事が出来る。そして現在のトレンドを理解しセンスを身につける		
評価基準	テスト 5 0 % ・ 実技(ロールプレイング) 3 0 % ・ 授業態度(提出物含む) 2 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	ドレスコーディネートA、ドレスカウンセリングAB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	玉城陽子	実務経験	○
実務内容	ウエディングプランナー		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期の復習	
2	新婦の洋装フィッティング①	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート (ヘアアレンジ込)
3	新婦の洋装フィッティング②	ドレス選択からフィッティング、小物合わせまでトータルコーディネート (ヘアアレンジ込)
4	トータルコーディネート①	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践
5	トータルコーディネート②	タイムを計り、ドレスのトータルコーディネート実践
6	ブライダルコレクションに向けて ドレスコーディネート①	ブライダルプロジェクトと連動
7	ブライダルコレクションに向けて ドレスコーディネート②	ブライダルプロジェクトと連動
8	ブライダルコレクションに向けて ドレスコーディネート③	ブライダルプロジェクトと連動
9	ブライダルコレクションに向けて ドレスコーディネート④	ブライダルプロジェクトと連動
10	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング①	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
11	ドレスコーディネート 接客ロールプレイング②	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う)
12	和装コーディネート 接客ロールプレイング③	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う) ※ペアを変更する
13	和装コーディネート 接客ロールプレイング④	授業で学んだ内容をもとに 受付対応～カウンセリング～衣装選択～小物選択の接客ロールプレイング (動画を撮影し、確認させてフィードバックを行う) ※ペアを変更する
14	後期試験	
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリング A		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリング A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身に付ける		
到達目標	まずは接客業において必要な基礎スキルを身に付ける 幅広い年齢のお客様を自身持って対応することが出来る		
評価基準	ペーパーテスト 40 % 実技試験 40 % 授業態度(提出物含む) 20 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	ドレスカウンセリング B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	伊禮由希子	実務経験	○
実務内容	ドレスコーディネーター・ジュエリーコーディネーター		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	接客業において必要な事を知る カウンセリングとはなにか、カウンセリングの意味を知る 身だしなみについて
2	表情練習①	笑顔を中心に接客においての表情練習を行う
3	表情練習②	撮影した動画を見て客観的に自分の表情を分析する
4	話し方・発声練習	お客様に好感を持っていただく為の話し方・発声方法を知る
5	お客様心理を学ぶ①	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客
6	お客様心理を学ぶ②	お客様の「イラッ」「モヤッ」をなくす基本の接客
7	敬語での会話練習①	敬語のみでお題に対してスピーチを行う
8	敬語での会話練習②	敬語のみでお題に対して会話を行う練習を行う
9	お客様心理を学ぶ③	好感度を上げる接客方法 接客を好きになる
10	花嫁クラスタ別対応方法①	花嫁クラスタ6種類について学ぶ
11	花嫁クラスタ別対応方法②	花嫁クラスタ別対応方法を考える
12	花嫁クラスタ別対応方法③	花嫁クラスタ別対応方法を考える
13	前期試験	筆記試験
14	前期試験	実技試験
15	総合学習	

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	ドレスカウンセリングB		
必修選択	選択	(学則表記)	ドレスカウンセリングB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	15
使用教材	なし		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ドレススタイリストに必要な、カウンセリング力、トーク力を身に付ける				
到達目標	まずは接客業において必要な基礎スキルを身に付ける 幅広い年齢のお客様を自身持って対応することが出来る				
評価基準	ペーパーテスト 4 0 % 実技試験 4 0 % 授業態度(提出物含む) 2 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	ドレスカウンセリングA、ドレスコーディネートAB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	伊禮由希子先生		実務経験	○	
実務内容	ドレスコーディネーター・ジュエリーコーディネーター				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入① 接客の基本を知る	前期振り返りをしながら後期の導入を行う 7つの接客応対用語・気配りワード・初対面の人との話題づくり
2	導入② 接客の基本を知る	前期振り返りをしながら後期の導入を行う 7つの接客応対用語・気配りワード・初対面の人との話題づくり
3	カウンセリング応用①	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
4	カウンセリング応用②	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
5	カウンセリング応用③	カウンセリング、ヒアリング練習 明確・不明確の答えに対するカウンセリング法
6	カウンセリング実践①	3～5週で学んだ事を実践しながら行う
7	カウンセリング実践②	3～5週で学んだ事を実践しながら行う
8	カウンセリング実践③	3～5週で学んだ事を実践しながら行う
9	カウンセリング実践④	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
10	カウンセリング実践⑤	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
11	カウンセリング実践⑥	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
12	カウンセリング実践⑦	実際にペアを組みカウンセリング～クロージングまでの接客の実践を行う
13	後期試験	筆記試験
14	後期試験	実技試験
15	総合学習	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクA		
必修選択	選択	(学則表記)	洋装・和装メイクA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	メイク道具一式、ヘア道具一式（後期） ボディージュエリー道具、和装カツラ（学校準備）		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら 和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける		
到達目標	洋装和装メイクのレパートリーを増やし、提案力を高める 結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる		
評価基準	前期…実技テスト40％　小テスト(実技筆記・課題提出含む) 30％　授業態度30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	玉城　春香	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 授業スケジュールの確認	オリエンテーション 洋装メイク・和装メイクについて説明 水化粧導入
2	和装花嫁のメイクのテクニック①	かつらの扱い方や付け方を学ぶ 各名称の説明、水化粧のやり方を学ぶ
3	和装花嫁のメイクのテクニック②	かつらの扱い方や付け方を学ぶ 水化粧のやり方を学ぶ
4	和装花嫁のメイクのテクニック③	かつらの下地のやり方や 水化粧のやり方を学ぶ
5	和装花嫁のメイクのテクニック④	洋装ファンデーションでの和装メイク
6	和装花嫁のヘアのテクニック	和装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ
7	洋装花嫁のヘアのテクニック	洋装花嫁のヘアのボリュームの出し方を学ぶ
8	シーンに合わせた洋装メイク①	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ 洋装メイクを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
9	シーンに合わせた洋装メイク②	
10	シーンに合わせた和装メイクから 洋装メイクへチェンジ①	ウェディングシーンのテーマを決め そのシーンに合わせたメイクテクニックを学ぶ 和装メイクから洋装メイクへのチェンジを学び、実践する 屋外・ロケーションフォトのメイクを学ぶ
11	シーンに合わせた洋装メイクから 和装メイクへチェンジ②	
12	実技テスト（1人目） 筆記テスト	課題：提示したウェディングシーンにあったメイク テーマに合わせてメイクチェンジ
13	実技テスト（2人目）	
14	ブライダル対象別マルチメイク	性別や、年齢別のヘアメイクテクニックを学ぶ ボディートラブルの隠し方、列席者メイク等
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	洋装・和装メイクB		
必修選択	選択	(学則表記)	洋装・和装メイクB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	メイク道具一式、ヘアー道具一式（後期） ボディージュエリー道具、和装カツラ（学校準備）		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	和装メイクやかつら技術を知ると共に様々なシーンを予想しながら 和装・洋装メイクの提案ができるような力を身につける		
到達目標	洋装和装メイクのレパートリーを増やし、提案力を高める 結婚式の本番同様に限られた時間の中でヘアメイクのチェンジができる		
評価基準	後期…卒業制作30% 実技テスト30% 小テスト（実技筆記・課題提出含む）20% 授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	玉城 春香	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 授業スケジュールの確認・ボディ ジュエリー①	オリエンテーション ボディメイクで身体も美しく見せるメイクを学び実践・新婦のボディジュエリーを学ぶ
2	ボディジュエリー②	ボディメイクで身体も美しく見せるメイクを学び実践 新婦のボディジュエリーを学ぶ
3	和装色打掛 白無垢のヘアメイクテクニック①	色打掛に合わせたヘアメイクテクニックを学ぶ
4	和装色打掛 白無垢のヘアメイクテクニック②	相モデルで実践・着物を指定した上でヘアメイクを行う カウンセリングシート作成・挙式、お色直し、披露宴までの流れに合わせたテクニックを学び実践
5	カウンセリング 白無垢のヘアメイクテクニック③	カウンセリングシートを作成し、希望をもとにヘアメイクを行う
6	カウンセリング 白無垢のヘアメイクテクニック④	カウンセリングシートを作成し、希望をもとにヘアメイクを行う
7	小テスト	これまで学んだカウンセリングについて
8	実技テスト	これまで学んだ白無垢のヘアメイクテクニックのテスト
9	新郎ヘアメイク	新郎のヘアセットについていくつかパターンを学び実践する
10	卒業制作準備	シーンを決めこれまで学んだヘアメイクテクニックを活かした 卒業制作を考える
11	卒業制作撮影①	シーンを決め、そのイメージにあったヘアメイクを実践・撮影 メイクチェンジを行い撮影
12	卒業制作撮影②	シーンを決め、そのイメージにあったヘアメイクを実践・撮影 メイクチェンジを行い撮影
13	卒業式の袴に合わせたヘアメイク ①	カウンセリングを行いデザイン画を描く ヘアメイクの提案をし、相モデルで行う
14	卒業式の袴に合わせたヘアメイク ②	カウンセリングを行いデザイン画を描く ヘアメイクの提案をし、相モデルで行う
15	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジテキスト、ヘア道具一式、ホットカーラー、ヘアアイロン、ブライダルメイクテキスト		出版社	三幸学園	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ヘアアレンジの基礎的な技術を習得する				
到達目標	ブライダルの現場で役に立つヘアアレンジの基礎的な技術ができるようになる 基礎的な技術を身に付け、繰り返すことで基礎を固め応用力にいかすことができる				
評価基準	実技テスト30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）30% 授業態度40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	無				
関連科目	無				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉城 春香		実務経験	○	
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション カールアップ①	オリエンテーション ホットカーラー復習、逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ※サイドアップ含む
2	カールアップ①	後期カールスタイルのアレンジ 逆毛の立て方、スタイル構成を学ぶ ※カールアップスタイル（スタイルは各校判断）
3	カールアップ②	
4	カールアップ（小テスト）	カールアップスタイルのテスト
5	夜会巻 ～重ね夜会①～	夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ
6	夜会巻 ～重ね夜会②～	夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ
7	夜会巻 ～重ね夜会③～	夜会巻きのスタイル構成と面の出し方を学ぶ
8	夜会巻 ～本夜会②～	本夜会巻きのスタイルを展開図からしっかり学ぶ
9	夜会巻 ～本夜会①～	本夜会巻きのスタイルを展開図からしっかり学ぶ
10	本夜会巻き・重ね夜会巻きどちらか を選択しテストに向け復習・練習	テストで実施するスタイルの復習・練習
11	テスト	重ね夜会巻き又は本夜会巻き どちらかを選択しテスト
12	洋装スタイル①	各校でスタイル選定
13	洋装スタイル②	
14	洋装スタイル・相モデル	相モデルで施術を行う
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルヘアアレンジC		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルヘアアレンジC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	電子版ヘアアレンジ、電子版B R I D A L メイク道具一式、ヘアー道具一式		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1 年次に身に付けた基礎技術をいかし、更にアレンジを教化し多くのレパトリーを習得する		
到達目標	衣装・小物にあったヘアスタイルを様々なパターンで提案し短時間で仕上げるができる		
評価基準	実技テスト30% 作品採点30% 小テスト（筆記実技・課題提出含む）20% 授業計画20%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	玉城 春香	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 洋装スタイル	オリエンテーション 洋装スタイル復習
2	七五三のヘアアレンジ	七五三の導入を行う 子供用の日本髪「桃割れ」を作る
3	新日本髪①	新日本髪のスタイル構成と面の出し方を学ぶ
4	新日本髪②	
5	新日本髪③ 実技テスト	新日本髪（ウィッグ）
6	和装スタイル①	各校でスタイル選定
7	和装スタイル②	各校でスタイル選定
8	和装スタイル③テスト	各校でスタイル選定
9	クイックチェンジを学ぶ	和装から洋装・和装から和装など様々な組み合わせでスタイルチェンジを学ぶ
10	クイックチェンジを学ぶ 小テスト	相モデルで行う ※チェックテストあり
11	フリースタイル①	洋装スタイルテスト(採点あり) 基本テクニックを駆使しヘアスタイルを作り上げる
12	フリースタイル②	
13	作品創作①	洋装・和装に合わせたヘアメイクアレンジを制作 2年間学んだヘアアレンジの技術を活かし、 自由にヘアアレンジを創作する
14	作品創作② 作品採点	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク & フォトA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク & フォトA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式 電子版BRIDAL		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身に付ける		
到達目標	ブライダルメイクアップ検定取得 フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえてその技術を活かすことができる		
評価基準	作品制作30% 実技テスト30% 小テスト(課題提出含む)20% 授業態度20%		
認定条件	・出席が掃除関数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	日本トータルメイクアップ協会 ブライダルメイクアップ検定		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	伊禮 亜希子	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ブライダル検定対策	ブライダル検定までのスケジュール確認(復習) テーマ：ラグジュアリー イメージを理解する
2	ブライダル検定対策	テーマ：クラシカル イメージを理解する
3	検定対策①	ブライダルの現場でも使えるメイクパターンを使用した検定取得に向けて実践する ～8パターン＆プレゼン練習～ デッサンシート書きかた プレゼンの仕方導入 モデル確保について 8パターンを行う 時間内に仕上げる
4	検定対策②	
5	検定対策③	
6	検定対策④	
7	検定対策⑤	
8	検定対策⑥	
9	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	ヘア＆メイク通しで仕上げる メイク→可愛い or 綺麗 ヘア→アップスタイル ヘアメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる
10	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	タイムワークを意識 手順、流れを意識し理解できている
11	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	似合わせヘア＆メイク 目元→ニュアンス ソフトベールトーン、暖色系可愛い or 綺麗 ニュートラルな無彩色 ヘアメイクを通して仕上げる事により全体バランスを理解できる
12	白ドレスに合わせたヘアメイク もしくはKPフォトコンテスト	タイムワークを意識 手順、流れを意識し理解できている
13	撮影・実技テスト (一人目)	相モデルでそれぞれ撮影 ※一人3コマ
14	撮影・実技テスト (二人目)	相モデルでそれぞれ撮影 ※一人3コマ
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク & フォトB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク & フォトB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	メイク教材一式、ヘア教材一式 電子版BRIDAL		出版社	三幸学園	

科目の基礎情報②

授業のねらい	お客様が喜ばれるフォトウェディング術を身に付ける		
到達目標	フォトウェディングの理解を深めると共に一年生で行った顔分析を踏まえてその技術を活かすことができる		
評価基準	作品制作30% 実技テスト30% 小テスト(課題提出含む)20% 授業態度20%		
認定条件	・出席が掃除関数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	無		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	伊禮 亜希子	実務経験	○
実務内容	ブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション カウンセリング術を学ぶ	後期の授業内容説明 カウンセリングの必要性を説明、流れ、内容、話術を説明、カウンセリングシートの記入の仕方を学ぶ
2	カウンセリング術を学ぶ	カウンセリングレクチャー後、ペアでロールプレイング
3	コントゥアリングメイク	コントゥアリングメイクについて説明 コントゥアリングメイクの実践
4	ドレスに合わせた イメージ撮影準備	カラードレスで考える モデルの雰囲気やドレスの形、色に合わせたヘアメイクの提案を学ぶ
5	ブライダルシーンに 合わせた撮影準備	チャペルや、バンケット、その他撮影アングルなど考えてトータルバランスが良くなるように撮影を考える
6	ブライダルシーンに 合わせた撮影（実技テスト）	ブライダルシーンも踏まえた作品として撮影する
7	卒業制作について 卒業制作準備①	卒業制作に向けて準備を行う ※撮影スケジュールを確認 ※小物アイテム作成、ポージング、撮影アングル等イメージを細かく考える ※撮影に向けてヘアメイク練習、モデルのポージング確認、ヘアメイクの写り具合など実際撮影し練習する ※各校判断・・・撮影場所、撮影状況、写真撮影枚数、ポージング バストアップ・全身等アングルによる枚数等
8	卒業制作準備②	
9	卒業制作準備③	
10	卒業制作撮影①	
11	卒業制作撮影②	
12	作品選び・振り返り	卒業制作の作品選び・振り返りを行う
13	卒業式ヘアメイク①	卒業式ヘアメイクについて説明・和装用メイクの説明 卒業式ヘアメイクの実践
14	卒業式ヘアメイク②	卒業式ヘアメイクの実践
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅡA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式・ジェルキット(中級検定用具一式)UVランプ、カラーポリッシュ、チップ、ネイル検定2級に必要な道具		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する		
到達目標	ネイルの基本的なアートができる 応用を学び、技術の幅を広げる事ができる		
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 授業態度20% 提出物20%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター J N E C ネイリスト技能検定 N P O 法人日本ネイリスト協会 J N A ジェルネイル技能検定試験		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	加藤睦子	実務経験	○
実務内容	サロン経営		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	オリエンテーション 教材配布(名称及び説明) 【筆記】 2級検定筆記対策 【実技】 チップラップ、カラーリング
2	【筆記】2級筆記対策 【実技】2級検定対策	【実技】 2級検定対策 チップラップ～カラーリング 2級検定の後半試験内容を流れて学ぶ カラーリングは2級に対応できる仕上がりを目指す
3		【実技】 2級検定対策 チップラップ～カラーリング 2級検定の後半試験内容を流れて学ぶ カラーリングは2級に対応できる仕上がりを目指す
4		【筆記】 2級対策 【実技】 チップラップ、カラーリング、ネイルアート
5		【筆記】 2級対策 【実技】 チップラップ、カラーリング、ネイルアート
6		【実技】 2級検定対策（第二課題 タイムトライアル）
7		
8	テスト	【筆記】2級検定の内容で筆記テストを行う 【実技】2級検定の内容で実技テストを行う
9	テスト	【実技】2級検定の内容で実技テストを行う
10	ジェルネイル中級検定対策	中級検定説明 【筆記】 中級検定筆記対策 【実技】 中級検定説明 中級検定対策
11	ジェルネイル中級検定対策	【筆記】 ジェル検定中級対策 【実技】 中級検定対策 カラーグラデーション（ジェルP88～91）
12		【筆記】 ジェル検定中級対策 【実技】 中級検定対策 カラーグラデーション（ジェルP88～91）
13		【筆記】 ジェル検定中級対策 【実技】 中級検定対策 フレンチ（ジェルP92～95）
14		【筆記】 ジェル検定中級対策 【実技】 中級検定対策 フレンチ（ジェルP92～95）
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルネイルⅡB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルネイルⅡB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	テクニカルシステム、ネイル道具一式、アート用具一式ケア・カラー・アート用具一式・ジェルキット(中級検定用具一式)UVランプ、カラーポリッシュ、チップ、ネイル検定2級に必要な道具		出版社	日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルの基礎知識と技術をマスターし、その先の応用技術ができるようネイルアートの幅を広げ習得する		
到達目標	ネイルの基本的なアートができる 応用を学び、技術の幅を広げる事ができる		
評価基準	実技テスト30% 筆記テスト30% 授業態度20% 提出物20%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター J N E C ネイリスト技能検定 N P O 法人日本ネイリスト協会 J N A ジェルネイル技能検定試験		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ジェルネイル中級検定対策	【実技】 ジェルクリアスカルプチュア（テクニカルシステム ジェル P62～66）
2	【実技】 中級内容	【実技】 ジェルクリアスカルプチュア（テクニカルシステム ジェル P62～66）
3	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル（第一または、第二通し）
4	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル（第二通し）
5	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル（第二通し）
6	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル（第二通し）
7	【実技】 中級内容	【実技】 中級内容でタイムトライアル（第二通し）
8	テスト	【筆記】 2級検定の内容で筆記テストを行う 【実技】 2級検定の内容で実技テストを行う
9	テスト	【実技】 2級検定の内容で実技テストを行う
10	ブライダル&トレンドアート①	流行のトレンドアートについて学ぶ
11	ブライダル&トレンドアート②	
12	卒業制作	テーマに合わせた作品制作
13	卒業制作	
14	卒業制作	
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステA		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	クリエーン化粧品（BP科/B科/BD科2年生用エステセット）、 ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステへ通う事の意義や重要性を伝える事を習得する		
到達目標	基礎になるフェイシャルエステとボディエステができる		
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	仲与志奈津子	実務経験	○
実務内容	エステ講師15年以上 サロン経営 鍼灸師		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション エステティックとは 使用方法と説明	オリエンテーション ベッドメイク.スチームタオル作り 化粧品配布と取扱いについて 一連の流れについて
2	ボディ技術理論 生理解剖/エステティック種類	ボディエステティックとは トリートメントの目的を学ぶ 皮膚の構造を知る エステサロンの種類について学ぶ ボディカウンセリング
3	マッサージ～① ホットタオル拭取り	マッサージ導入・デモ 下肢後面 軽擦法～強擦法・揉撫法・打法・振動法 圧迫法～軽擦法
4	マッサージ～② ホットタオル拭取り	
5	マッサージ～③ ホットタオル拭取り	
6	実技テスト	ご案内～マッサージ～ホットタオル～仕上げ
7	アロマとは 精油の基礎知識を学ぶ	精油について 精油が心身に作用する経路を知る
8	アロマセラピーの利用法 小テスト	香りのイメージを学ぶ 精油の使用法、安全の為の注意
9	腰背部マッサージ① (アロマトリートメント)	デモンストレーション・手技・拭き取りについて学ぶ
10	腰背部マッサージ② (アロマトリートメント)	復習
11	腰背部マッサージ③ (アロマトリートメント)	復習
12	復習 通し練習①	腰背部 (アロマトリートメント)
13	復習 通し練習② 小テスト	腰背部 (アロマトリートメント)
14	筆記テスト	前期で学んだ範囲の筆記テストを作成し実施
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	ブライダルエステB		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルエステB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	1	30
使用教材	クリエーン化粧品（BP科/BC科2年生用 エステセット）、ナースシューズ、実習着、大タオル、白タオル、コットン、消毒液		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティックの基礎を学ぶことで将来、お客様にエステサロンへ通う事の意義や重要性を伝えることを習得する		
到達目標	基礎になるフェイシャルエステとボディエステができる		
評価基準	筆記テスト30% 実技テスト30% 小テスト(筆記実技・課題提出含む)20% 授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	一般社団法人 日本エステティック協会 認定フェイシャル&ボディエステティシャン		
関連科目	無		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	仲与志奈津子	実務経験	○
実務内容	エステ講師15年以上 サロン経営 鍼灸師		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション フェイシャル技術理論 皮膚学について	オリエンテーション フェイシャルについて「トリートメントの目的」 ・皮膚の構造を学ぶ
2	フェイシャルケアの流れ ポイントクレンジング	フェイシャルセッティング ポイントメイククレンジング / 手技練習について学ぶ
3	クレンジング～ コットン・スポンジ拭取り ホットタオルふき取り	クレンジング・拭き取り/手技について学ぶ ホットタオル拭取りのための準備や方法を学ぶ
4	クレンジングから復習	ホットタオル拭き取り実践
5	マッサージ～ふき取り～仕上げ①	マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う①
6	マッサージ～ふき取り～仕上げ②	マッサージ・ホットタオル拭き取り～仕上げを行う②
7	クレンジング～ マッサージ～ふき取り～仕上げ①	クレンジングからホットタオル拭き取り～マッサージ～ふき取り～仕上げ①
8	クレンジング～ マッサージ～ふき取り～仕上げ②	クレンジングからホットタオル拭き取り～マッサージ～ふき取り～仕上げ②
9	実技テスト	後期に学んだ範囲…フェイシャル
10	フェイシャルパック ディープクレンジング① (ピーリング)	デモンストレーションより学び実践 ・手技 ・拭き取り
11	フェイシャルパック ディープクレンジング② (ピーリング)	前回の復習・実践 ・手技 ・拭き取り 小テスト(フェイシャルパックのテスト)
12	フェイシャルカウンセリング①	お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルパック・ディープクレンジングの種類を提案し、技術ができる カウンセリング～ディープクレンジング～フェイシャルパック
13	フェイシャルカウンセリング②	お客様のお肌状態・お悩みに合わせてフェイシャルパック・ディープクレンジングの種類を提案し、技術ができる カウンセリング～ディープクレンジング～フェイシャルパック
14	筆記テスト	筆記テスト…後期で学んだ範囲
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅠ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅠ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリッパ(肌着)・クリップ(5)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・技術の基礎を身につける		
到達目標	・きもの着付け3級(6月強制受験 免許免除)		
評価基準	検定試験：40％ テスト30％ 授業態度：30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格		
関連科目	花嫁着付けⅠ－B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡久地紀子・金城香織	実務経験	○
実務内容	着付け師として、実務経験10年以上		

習熟状況等により

各回の展開

回数	単元	内容
1	着付け授業について	授業内容・教材・小物の説明、取得免許について 授業ルールの説明、補整について、肌着のたたみ方
2	小紋の着せ方1	長襦袢の着せ方、小紋の着付け(裾合わせ)、たたみ方
3	小紋の着せ方2	小紋の着付け(襟合わせ、お端折の作り方)、たたみ方
4	小紋の着せ方3	小紋の着付け(復習)、半幅帯について、小紋に蝶結び 小テスト(着物の名称)
5	小紋の着せ方4	小紋に蝶結び 仕上げ
6	小紋の着せ方5	小紋に蝶結び 仕上げ
7	小紋の着せ方6	小紋に蝶結び 仕上げ
8	3級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
9	3級検定試験	小紋の着付けと蝶結び(20分)、たたみ方テスト
10	振袖の着せ方1	2級課題について、考査票の記入 振袖について、補整の仕方、たたみ方
11	振袖の着せ方2	袋帯について、帯のセットの仕方、ふくら雀の結び方
12	振袖の着せ方3	ふくら雀の結び方
13	振袖の着せ方4	振袖にふくら雀 仕上げ
14	振袖の着せ方5	振袖にふくら雀 仕上げ
15	総合学習	振袖にふくら雀 仕上げ、前期まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	花嫁着付けⅠ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	花嫁着付けⅠ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	45
使用教材	教本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・衿芯・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・仮ひも(1)・和装スリップ(肌着)・クリップ(5)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けの基礎知識と基礎技術を更に向上させ、より実践的な着付けを目指す		
到達目標	・きもの着付け2級(10月強制受験 免許強制)・花嫁着付3級(2月強制受験 免許強制)		
評価基準	検定試験：40％ テスト30％ 授業態度：30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格		
関連科目	花嫁着付けⅠ－A		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	渡久地紀子・金城香織	実務経験	○
実務内容	着付け師として、実務経験10年以上		

習熟状況等により

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方7	後期授業内容について、振袖にふくら雀 仕上げ
2	2級検定向上会	「向上会」検定試験の流れ
3	2 級検定試験	振袖の着付けとふくら雀(30分)
4	花嫁着付内容説明	デモンストレーション・小物の説明・準備の仕方・片付け方・補整作り
5	掛下の着せ方1	補整・長襦袢・小物の片づけ方、たたみ方
6	掛下の着せ方2	掛下の着せ方(衿合わせの決め方)
7	掛下の着せ方3	掛下の着せ方(裾の引き方)
8	掛下の着せ方4	掛下に文庫結び
9	掛下の着せ方5	掛下に文庫結び 仕上げ
10	掛下の着せ方6	掛下に文庫結び 仕上げ
11	掛下の着せ方7	掛下に文庫結び 仕上げ
12	花嫁着付3級検定 向上会	「向上会」検定試験の流れ
13	花嫁着付 3 級検定	掛下に文庫結び(35分)
14	打掛の掛け方	掛下に文庫結び、お絡げ、褌取り、お搔取の仕方
15	総合学習	紋服の着せ方と総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ブライダルプロデュース科	2	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価75点（評価表にて採点）、学校評価25点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					